

技術支援の取り組み

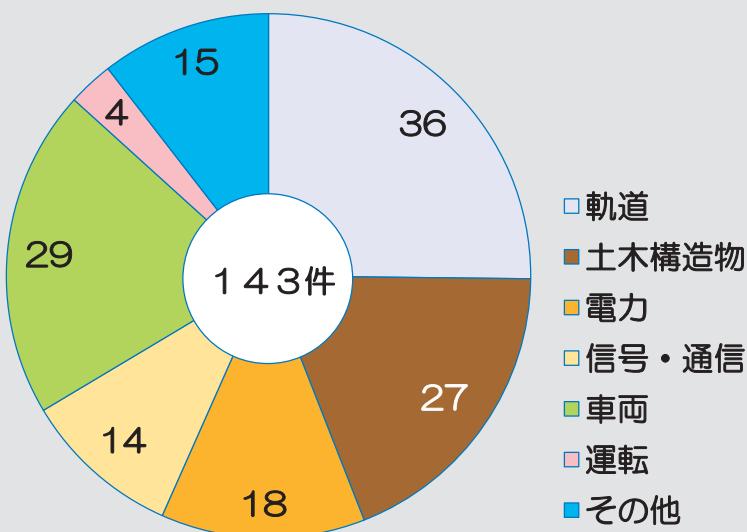
Activities for Progress of Technical Level of Railway Engineers

概要

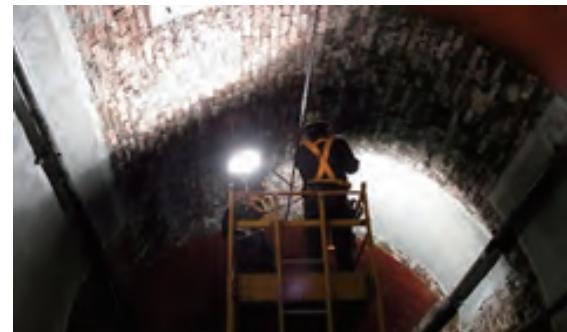
会員の皆様が抱える鉄道技術に関する課題（疑問、悩み）等を解決するための技術支援活動を行っています。平成27年度は、会員の技術的課題に関するご相談143件（現地調査26件含む）に対応するとともに、主要都市での講演会の実施等、会員の技術力の維持・向上に寄与する活動を展開しました。

特に重点をおいた地方鉄道への技術支援については、現地調査等が9社13件、文献・研究室の見解等の提示が43社83件となりました。

技術的なご相談への対応状況



平成27年度の分野別ご相談件数



トンネルの補修方法に関する現地調査



車輪のフランジ摩耗に関する現地調査

● 軌道

- ・コンクリート枕木の敷設間隔に関する調査
- ・道床の補修方法に関する調査
- など

● 土木構造物

- ・橋台裏の路盤陥没に関する調査
- ・長大法面の維持管理に関する調査
- など

● 電力

- ・エアセクション断線防止対策
- ・架線柱の耐用年数に関する調査
- など

● 信号・通信

- ・軌道回路の誘導障害対策
- ・CTC・連動装置の雷害対策
- など

● 車両

- ・車輪フランジの油付着量に関する調査
- ・台車の側受荷重負担率に関する調査
- など

● 運転

- ・多客期における列車遅延対策
- ・列車運転可能な積雪量の目安
- など

鉄道技術教材

実務の中核を担う中堅技術者クラス向けに、「事故に学ぶ鉄道技術」シリーズを各技術分野ごとに作成しています。

事故事例等を体系的に整理し、原因や対策だけでなく、学ぶべきポイントや技術的解説を設け、幅広い知識の習得ができる構成としています。

事象の概要

特高ケーブル延焼によるトンネル火災

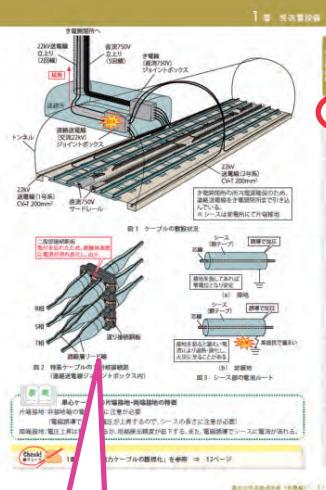
原因

背景

措置

ポイント

参考図



例：事故に学ぶ鉄道技術
(変電編)

講演会・説明会

毎年、関心の高いテーマを選定し、主要都市で講演会等を開催しています。

平成27年度は「最近の自然災害の特徴と防災技術の動向」と題した推進センター講演会を、仙台・東京・大阪・福岡の4会場で開催し、合計257名の方のご参加をいただきました。

また、地方鉄道協会技術委員会等で13件の講演を実施しました。



東北鉄道協会研修会での講演
「事故から学ぶ車両保守作業の姿勢」



推進センター講演会（東京会場）



九州鉄道協会土木部会での
簡易型軌道検測装置（EMAS）の実演